
平成23年 第2回定例会

一般質問 秋成靖議員

平成23年 6月10日

▶質問

公明党の秋成 靖でございます。4月の統一地方選挙で初当選させていただきました。昨年までは区の職員として勤務をさせていただき、理事者の皆様には長年にわたり大変にお世話になりました。立場は変わりましたが、ご支援をいただきました皆様のご期待におこたえできるよう、これからも大田区のため、我が身を削り働いてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

質問通告に従い、質問をさせていただきます。

先の連合審査会、今回の第2回定例会でのご質問にも数多くありましたが、区民の皆様のご安心・安全な暮らしのため、防災行政無線について質問いたします。

防災課が所管する防災行政無線ですが、難聴地域の解消、老朽化への対策やデジタル化への変換のため、平成22年度から放送設備の更新工事が開始となりました。そして、停電があった際でも、区内に設置されている放送塔は充電式となっているため、72時間にわたり作動すると伺い安心いたしました。そして、放送内容については、区民の皆さんに聞こえやすいようにゆっくりと話し、放送は2回繰り返すとの対応をしているそうですが、私自身、今回の震災時に放送された内容について、窓をあけて聞いていたのですが、ちょうど通りかかったトラックやバイクの騒音に消され、その内容を確認することができませんでした。防災行政無線の内容について、今回の東日本大震災以降、防災課へ140件以上のお電話やメールによるご連絡があったそうですが、問い合わせ、苦情をはじめ、中には放送に対する御礼もあつ

たと伺いました。そこで質問いたします。今回の苦情や問い合わせに対して、大田区はどのような対応をされたのでしょうか。

また、ある区民の方が出張所へ問い合わせたところ、現在ここではわからないので調べますとの回答だったそうです。そこで、大田区の職員が防災無線での放送内容を瞬時に把握できるよう、大田区職員の端末、職員ポータルで全職員へ一斉メールでの配信を提案いたします。また、大田区ホームページを防災行政無線からたどっていきますと、無線放送塔からの放送内容一覧として、前月までの内容を掲載していますとされていますが、区のホームページのトップ画面に最新の防災行政無線の放送内容を掲載することはできませんでしょうか。大田区としての所見をお聞かせください。

大震災以降、区のホームページはトップ画面に大震災に関するお知らせとして表示され、区民の方が求める様々な情報を提供いただいたことで、多くの方に大変役に立ったことと感じております。このことと同様に、区のホームページのトップ画面で防災行政無線の内容を確認できる形にすることが、迅速な情報提供の大田区にもつながると思います。

携帯電話をお使いの方からとても好評な区民安全・安心メールサービスですが、私も今回の震災を機に登録させていただきました。登録以降、防災行政無線が放送されるたびに配信をいただき、放送内容を確認できております。ただ、停電時には、この安全・安心メールサービスをどのように更新するのか不安だったのですが、もし停電があった場合でも、数分の後に区役所の地下の発電装置が作動すれば72時間にわたり更新作業ができるとのことで安心しました。そこで、この停電の際の発電装置の作動について、点検や作動訓練は行っているのか教えてください。

そして次に、情報弱者の皆さんへの対応でございます。平成24年度末で防災行政無線の更新工事が終了した以降、デジタル化された文字情報を様々な形で配信でき

るように計画していると伺いました。しかし、工事が終了した後、平成25年度からの文字情報の配信では今から約2年の間があいてしまいます。そこで、大田ケーブルテレビだけでも安全・安心メールサービスの防災行政無線の内容とリンクをさせ、区民の皆さんに情報を提供することはできないでしょうか。重ねてお願いをいたします。

また、防災行政無線が聞こえなかったという地域の方へ安全・安心メールがありますと紹介したところ、私はメールもインターネットも全くできないから困っているとのご意見をいただきました。最新の方法を使い、区が情報を発信しても、メールやインターネットの情報を得ることが難しい情報弱者の方、比較的高齢の皆さんが多いと思うのですが、このような情報が伝達しづらい方への対応こそがこれから本当に必要であり、大事なことではないかと感じております。

そこで、防災テレホンサービスの導入についてお願いをいたします。防災行政無線を何らかの理由、事由によりその内容を確認することができなかつた方に、お電話をおかけいただく手間はかかりますが、この防災テレホンサービスにより放送内容を確認できるというものです。平成18年前後に導入したという近隣市へ問い合わせたところ、かなり高額な準備費用がかかったそうですが、震災後に導入を検討している自治体では、電話会社の音声応答機能サービスを利用し、比較的安価で準備ができるようです。導入に向けました推進を強くお願い申し上げます。大田区としての所見をお聞かせください。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

<回答>

▶津村 経営管理部長

私からは災害用自家発電装置の点検や作動訓練についてのご質問にお答えをさせていただきます。

災害用自家発電装置につきましては、毎月1回短時間の稼働を行いまして、電圧や電流の測定を行っているところでございます。また、年に1回発電装置内部の点検を行うほか、実際に商用電源を停止いたしまして、発電装置の起動の確認を行っているところでございます。

私からは以上でございます。

▶宇佐見 防災・危機管理担当部長

私からはメール等での問い合わせと、それに対する対応状況に関するご質問その他についてお答えいたします。

メールにつきましては、放送が聞こえにくいというご意見がありました。その場合に、放送内容について回答をさせていただいております。大多数の方はそれでいいということでございますが、その際に住所を教えていただいた方については、住所地の放送塔の配置でありますとかスピーカーの向きについて説明をさせていただいて、今後も聞きやすくなるように調整をさせていただきますという回答をしております。内容によりましては、現地で実際に聞き取り調査を行って、必要と判断した場合にはスピーカーの調整というのを実施しております。音声の伝達は内容が認識されて初めて伝わったと言えますので、防災無線だけでなくメール、ホームページ等情報を伝達する手段を今後も研究しまして、より確実に情報伝達ができるように努力したいと考えております。

それから、防災行政無線の放送を実施した際に、全職員への情報提供に関するご質問でありますけれども、現在の安全・安心メール、ホームページの活用に加えて、区役所の全職員へ周知するために職員ポータルを利用した情報配信につきまして、実施する方向で検討したいと思います。

それから、防災行政無線の内容を掲載することに関するご質問につきまして、放送直後にホームページを書き換えることは難しいために、防災無線放送内容の表示するページへのリンクを作成しましてリンク先に最新の情報を作成するなど、早期に情報を反映する方法について今検討しているところであります。安全・安心メールの送信とタイミングを同じに更新できるように調整したいと考えております。

それから、大田ケーブルテレビを活用した情報提供に関するご質問でありますけれども、大田ケーブルテレビにおきまして、既に区民安全・安心メールサービスとリンクしまして、情報を提供する仕組みができ上がっております。今後、防災行政無線のカテゴリーの情報につきましても、情報提供をお願いして実現を目指したいと思っております。

それから、防災テレホンサービスの導入についてでございますけれども、23区でも導入している区があると聞いております。今後、検討させていただきたいと思っております。

以上です。